

# 平成29年度 教育活動に関するアンケート 集計結果【年度末：職員】

秋田県立ゆり支援学校道川分教室

## 1 学校評価「教育活動に関するアンケート」集計結果

(1) 実施期間 平成29年12月15日～平成30年1月15日

(2) 回収率 100% (回答者11人)

(3) 評価尺度

4 = そう思う (している)	3 = ややそう思う (ややしている)
2 = あまりそう思わない (あまりしていない)	1 = そう思わない (していない)

### (4) 結果と今後に向けて

○全ての領域(7)において評価が平均値3.00以上です。  
今年度の中間評価より数値が高くなりました。全職員が具体的な改善案について意見を出し合い、実践してきた成果と捉えることができます。

●教育課程・教育内容の検討、運営組織の見直しについて、中間評価より数値はよくなったが、改善を要する意見が多くありました。

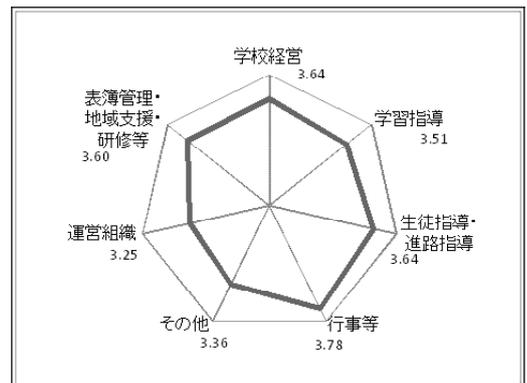
◇各領域において次の点に留意し、学校運営・指導に努めます。

学校経営、学習指導、生徒指導・進路指導、表簿管理・地域支援・研修等：学校運営の重点の下、保護者・病院関係者との情報共有・連携を図りながら、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程・学習内容の検討を重ね、細やかで丁寧な指導を継続します。

行事等：児童生徒のねらい達成を目指し、体調等に十分に配慮しながら、地域資源を活用した体験的な活動や、地域の小・中学校、ボランティア等との交流活動を継続実施します。

その他：病院関係者からの理解と協力を得ながら学習活動を進めることができている。分教室の取組について便りや掲示物・展示等を通し発信を継続し、理解を深めていきます。

運営組織：児童生徒数の減少を見越し、業務内容を見直し、効率的な業務遂行につながる運営組織の検討が必要です。



<各領域の平均評価点>

(※0=分からない、無回答)

領域	No.	評価内容	評価(人)					平均値	H29中間	H28年度末
			4	3	2	1	0			
学校経営 3.64↑	1	職員は、今年度の学校運営の重点事項を理解し、学部、学年(学級)の指導方針や考えと併せて、保護者に分かりやすく伝えている。	5	6	0	0	0	3.45↑	3.35	3.43
	2	職員は、特別支援学校の役割を意識し、魅力ある学校づくりに取り組んでいる。	7	4	0	0	0	3.64↑	3.45	3.64
H29中間 (3.55)	3	職員同士が連携、協力してそれぞれの仕事にあたっている。	8	3	0	0	0	3.73↑	3.64	3.79
H28年末 (3.61)	4	職員の礼儀、態度、服装、保護者への対応等は適切である。	7	4	0	0	0	3.64	3.64	3.64
	5	病院職員や家庭への連絡や情報提供は適切に行われている。	8	6	0	0	0	3.73↑	3.45	3.57
学習指導 3.51↑	6	職員は、児童生徒の特性や発達段階の理解に十分努めている。	8	3	0	0	0	3.64↑	3.55	3.57
	7	教育課程や指導内容、指導方法、教材・教具は児童生徒のニーズに合っている。	5	5	1	0	0	3.36↑	3.09	3.21
H29中間 (3.36)	8	職員は、児童生徒の教育に熱心に取り組み、授業の充実や専門性の向上に努めている。	6	5	0	0	0	3.55↑	3.45	3.64
	9	児童生徒は、学校生活を楽しみ、満足している。	9	2	0	0	0	3.82↑	3.73	3.29
H28年末 (3.37)	10	児童生徒の教育に関して、保護者や病院職員との意見交換や共通理解ができている。	2	9	0	0	0	3.18↑	3.00	3.14
生徒指導 進路指導 3.64↑	11	職員は、児童生徒や保護者の悩み、希望の理解に努め、適切に対応している。	9	2	0	0	0	3.82↑	3.45	3.36
	12	職員は、児童生徒のよさや可能性に着目し、そのよさを伸ばす指導をしている。	9	2	0	0	0	3.71↓	3.82	3.71
H29中間 (3.58)	13	職員は、卒業後の生活に関する相談や情報提供を適切に行っている。	7	4	0	0	0	3.36↑	3.27	3.36
	14	職員は、児童生徒の人権を尊重している。	10	1	0	0	0	3.91↑	3.69	3.79
H28年末 (3.53)	15	職員は、児童生徒の将来の生活に必要な力を育てている。	5	6	0	0	0	3.45	3.45	3.43

領域	No.	評価内容	評価(人)					平均値	H29中間	H28年度末	
			4	3	2	1	0				
行事等 3.78↑	16	修学旅行、校外学習等の行事は充実している。	9	2	0	0	0	3.82↑	3.73	3.86	
	17	行事及び校外学習の回数や内容、経費は適切である。	9	2	0	0	0	3.82↑	3.73	3.29	
H29中間 (3.69)	18	岩城小学校やゆり支援学校との学校間交流は充実している。	7	4	0	0	0	3.64↑	3.36	3.57	
H28年末 (3.64)	19	ボランティア人材活用交流事業等を活用した交流は充実している。	10	1	0	0	0	3.91	3.91	3.79	
	20	実情に応じたPTA活動を工夫して実施している。	8	3	0	0	0	3.73↑	3.71	3.71	
その他 3.36↑	21	学校の安全管理(事故防止対策、緊急体制、個人情報の管理など)は適切に行われている。	8	3	0	0	0	3.73↑	3.36	3.43	
	22	関係機関と連携して、適切な支援に努めている。	6	5	0	0	0	3.55↑	3.36	3.43	
H29中間 (3.11)	23	分教室はあきた病院関係者に理解されている。	2	9	0	0	0	3.18↑	2.82	2.79	
H28年末 (3.17)	24	分教室は地域社会に理解されている。	1	8	2	0	0	2.91↑	2.73	2.79	
	25	分教室から地域への情報発信は適切に行われている。	5	6	0	0	0	3.45↑	3.27	3.43	
運営組織 3.25↑	26	学校運営組織は、現在のニーズに対応できる組織になっている。	4	5	2	0	0	3.18↑	3.00	3.21	
	27	職員会議や企画運営委員会、分掌部は、役割を十分に果たしている。	3	7	1	0	0	3.18↑	3.00	3.43	
H29中間 (3.04)	28	学部や分掌等で職員は、適材適所に配置されている。	4	7	0	0	0	3.36↑	3.18	3.29	
H28年末 (3.11)	29	仕事が均等に割り振りされている。	1	10	0	0	0	3.09↑	2.82	2.64	
	30	サービスの効率化や経費の節約が図られている。	5	6	0	0	0	3.45↑	3.18	3.00	
表簿管理 地域支援 研修等 3.60↑	31	諸表簿や簿冊の管理が適切になされている。	9	2	0	0	0	3.82↑	3.64	3.64	
	32	「個別の支援計画」に基づく支援が適切になされている。	4	6	1	0	0	3.27	3.27	3.21	
	33	「センター的機能」について、地域のニーズに応じた支援が行われている。	5	6	0	0	0	3.45	3.45	3.43	
	H29中間 (3.51)	34	病弱教育に係る「センター的機能」について、ニーズに応じた取組をしている。	9	2	0	0	0	3.82↑	3.64	3.21
	H28年末 (3.40)	35	職員の専門性が高められるように計画的に研修が推進され、職員は研究や研修に主体的に取り組んでいる。	7	4	0	0	0	3.64↑	3.55	3.50

## 2 「自由記述」より

○印:良かった点

●印:改善を要する点

□印:改善等に向けた具体策

### 【体験活動・交流活動、卒業生支援】

- 行事、校外学習、ボランティア活用等は充実しており、児童生徒の貴重な体験の機会である。
- 交流や校外学習は続けていきたい。
- ボランティア人材活用は継続していきたい。
- 岩城小学校交流や人材活用交流の機会を継続したい。
- いろいろな演奏など近くで感じる経験を積ませたい。
- 卒業生支援は継続していきたい。

### 【教育課程・教育内容等】

- 教育課程について、全員で話し合うことができてよかった。よりよい方向に向けて今後も継続していきたい。
- ベッドサイド学習への配慮はぜひ継続していくとよい。

### 【協力体制】

- 病棟関係者と児童生徒に関する情報の交換を積み重ねることがお互いの信頼関係を築いていくことにつながるため、相手の立場を理解しながら継続していきたい。
- 病院との関係はとてもよかったと思う。日常的に情報交換ができたり、担任と担当看護師等との間でケアや服装について話し合うことができ、指導に生かすことができたと思う。
- 職員数は減ったが、全職員が協力し合い取り組む体制ができている。
- 小さな職場なので、今年度もよくみんなで知恵を出し合ってがんばってきた。来年度もスクラムを組んでチームワークよく取り組んでいきたい。